Vol.06

町民が誇れる東川へ。

東川町オフィシャルレポーター中川梨花による連載「ひがしかわな人、」。第６回目にご紹介するのは、2021 年８月に移住し、アグリテックが運営する HAC（Higashikawa Activity Center）に勤務する黒木由布里さん。住んで 1 週間で東川に魅了されたという黒木さんに、その想いをお聴きした。

ひがしかわな人、

人、モノ、自然を

つなぐ存在に

「黒木由布里」。

「人、自然、環境。どれか一つでも欠けていたら東川ではない」。黒木さんは住んで１週間で、東川の魅力に心を奪われたという。大分県出身の黒木さんは小学生でサッカーを始め、体育教諭を目指して大学へ進学、その後特別支援学校教諭の免許を取得し学校に勤務した。その過程で、学校現場の枠を超え、子どもたちに「生きる力」を伝えたいと思ったという。まずは自らの視野を広げるため、2020年春に５年間勤めてきた教師の職を離れ、九州豪雨のボランティアや北海道の酪農家で働くなどの取り組みを行ってきた。そして2021年夏、地域のくらしと仕事を体験できる〝ふるさとワーキングホリデー〟に応募したことを機に、初めて東川を訪れた。約１ヶ月間、町立日本語学校に勤務し東川で暮らす中で、まちに魅了され移住を決め、町に訪れる人にも東川の魅力を伝えていければと、観光を通したまちづくりの企画会社であるアグリテックに勤めることを決意した。「登山やカヌー、農業体験や創作体験など、ここに来なければ味わえないものが沢山ある」と、東川の地域資源を再発掘しながら、魅力ある観光資源を多くの方に発信していきたいという。また、「外からみて豊かでも、中に住んでいる人が豊かでなければ意味がない」と、住んでいる人が自分の町を誇りに想えるようなまちづくりにも努めている。

今後は、観光を通して交流人口を増やし、〝人と人、人とモノ、人と自然をつなぐ存在〟になっていきたいと力強く語る。

シャッター ひがしかわ

19 85

「満開」

春といえばお花見！私は東川にある桜の名所のキトウシ森林公園で初めて桜を見ました。日本の南の地方からどんどん開花していくというニュースを見て、本物の桜を見るのを楽しみにしていました。その日は、お花見のために、友人と４キロくらい自転車に乗りました。疲れましたが、たくさんきれいな写真が撮れました。

Photo by　ラウィカーン

みなさまからの写真を随時募集中です！

ご応募はコチラから！

- ✔年齢・経験などは問いません！
- ✔写真は、東川町内で撮影されたものなら何でもＯＫ！（景色・人・食など）
- ✔撮影機材は何でもＯＫ！（スマホでも）
- ✔タイトル、お名前（ペンネーム可）、コメント（140 字以内）を添えてメールよりご応募をお願いします。

みなさまの素敵なお写真に出会えることを心待ちにしております♪

e-mail：
shutter_higashikawa
@gmail.com

東川町オフィシャルレポーター「中川梨花」の活動記録

3月は、東京で開催された2つの東川のPRイベントに参加して参りました。
オフィシャルレポーターとして、東川町の取り組みを発信することはもちろんですが、町民の皆様が日々紡いでいる想いをしっかりと責任を持って発信していくことの大切さを改めて感じております。春は出会いの季節でもあります。町民の皆様との新たな出会いを楽しみに、東川での時間を過ごしたいと思います。